



NIBカップはだいちジャパンだ!

まさしく梅雨の合間となった6月29日(日)板橋平和公園で第2回NIBカップが行われ、伏兵だいちジャパンが決勝でイタリアハルクを3対1で下し、栄光のNIBカップを手にした。サッカーワールドカップでは予選敗退した日本代表だが、ベーゴマ世界一戦では、並み居る強敵を退けその頂点にたった。

イタリア代表ハルクは決勝で力尽きる

精鋭25代表が勢ぞろいした今回のNIBカップ、前回優勝のスペイン後藤が、どこの国を引き当てるか注目を集めたが、その答えは優勝候補の一角ドイツだった。しかし、その後藤がボスニアジョージに敗れると、そのジョージはイタリアハルクに一蹴され、さらにハルクはクロアチア中Gの床外しで決勝の切符を手に入れる。めまぐるしい展開だ。一方、日本代表を引いただいち、気落ちすることなく、チリ奥田、スイスカツヤ、ナイジェリアとーさんを下し、ハルクの待つ決勝3本勝負に駒を進める。予想だにできなかった展開だ。

NIBカップはホームが後入れのホーム&アウェー方式だが、みんながその後入れを嫌がる。手元が狂うとかえって分が悪いのだ。しかし、その後入れできれいにケツを取ったのがだいちジャパンだ。すでに2対1でだいちがリードし、アウェーのハルクがベーを入れる。だいちの手前をハルクベーがケツを向けて通り過ぎる。すかさずだいちが床入れすると、ハルクベーのケツを一閃、見事に決まった。だいちは、まだこの春から登場したばかりの新鋭だが、初決勝トーナメント進出で初優勝のオマケつきだ。おめでとうだいちジャパン、4年後までNIBカップを飾ってください。

子ども王はちかはる、女流王はまみいだ

子ども王は先月同様、決勝トーナメントに進出したスペイン代表ちかはるとロシア代表まさとの争いになった。勝負は互角のこの二人、子ども王決定戦でも1対1のタイになりお互いに譲らない。しかし、勝負強いちかはるが2本目を先に取り、先月に続き子ども王となった。また、女流王は女性で一人気を吐いたベルギー代表まみいだ。惜しくも決勝トーナメントではスイスカツヤに敗れはしたが、居並ぶ強豪を尻目にベスト16入りだ。おめでとうちかはる、そしてまみい。



まみい、ちかはる、だいち、ハルク おめでとう!

